

“翅が黒いから” この名前？

木々が茂り、やや薄暗い水辺の散策路を歩いていると「パタタタ……」と小さな音がします。チョウがヒラヒラ舞うように、黒い翅をはためかせて飛んでいるトンボが居ました。ハグロトンボです。大きさは、5.5～6.5cmぐらいとやや大型です。翅は黒く、光の当たり具合によっては翅脈がくっきりと見えます。オスの胴体には緑や水色の金属光沢がありますが、メスの胴体は黒褐色で翅も黒いので、少し不気味な印象です。

生息期間は5月～11月頃と図鑑などには記載されていますが、陶史の森では5～6月は見掛けません。8月の暑い時期が出会いのピークです。9月半ばを過ぎると、翅がボロボロに傷んだハグロトンボに会うことはありますが、10月に入ってからでは見掛けたことはありません。

名前の由来は、タイトルにあるように“翅が黒いから”と思われがちです。しかし一説には、結婚した女性が歯を黒く染めるという平安時代には定着したとされる習慣の“お歯黒”からきているともいわれています。ハグロトンボもその時代に付けられた名前かもしれませんね。

トンボは大昔から代々命をつなぎ続けてきています。ハグロトンボに限らず人類や他の生き物が、これからも長く生き永らえることのできる環境を守り続けなければなりません。みんなで自然を大切にいきましょう。

ハグロトンボ（オス）



ハグロトンボ（メス）



森	の
日	記

ミツバチの分蜂

6月8日(日)



ミツバチは、群れが大きくなり新しい女王蜂が生まれる前になると、古い女王蜂が半分の働き蜂を連れて、一斉に巣を飛び出します。1万匹以上のミツバチは、新しい巣の場所が決まるまで、いったん近くの木の枝に固まりになってぶら下がっています。

親子で水遊び

6月27日(金)

“つまぎ”と“みつば”子育て支援センター主催の講座「親子で楽しい水遊び」が行われました。約50組の親子が、せせらぎ公園で水遊びを満喫。せせらぎは浅いので、親子一緒なら安全で楽しく水遊びができますよ。



教室のご案内

8月

夏の天体教室（要申込・定員20人）

8月2日(土) 午後7時30分～8時30分
土星の観測をします。

川の生き物教室（要申込・定員20人）

8月3日(日) 午前9時～11時30分
川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

昆虫教室（要申込・定員20人）

8月10日(日) 午前9時～11時30分
昆虫採集や観察の仕方を学びます。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

8月24日(日) 午前9時～11時30分
夏の野鳥を観察します。

9月

草木染め教室（要申込・定員20人）

9月21日(日) 午前9時～11時30分
草や木を煮出して白い布を染めます。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

9月28日(日) 午前9時～11時30分
初秋の野鳥を観察します。

※恒例の「陶史の森まつり」は9月6日(土)に開催予定です（雨天順延）。

